

2020年度夏の三者総会 議案書
令和2年8月25日(火) 10時00分開始 (yonupa-ml 上)

本議案書は、令和2年8月25日(火)から8月28日(金)に yonupa-ml 上で開催される夏の三者総会に提出されたものである。

1 2020年度決算(案)

2020年8月25日
文責：中川翔太、林祐輝(東北大学)

2020年度決算(案)を以下の通り提出いたします。何卒ご承認をよろしくお願い申し上げます。

1.1 収支の概要

- (+) が収入を、(-) が支出を表す。

項目	本年度決算	前年度決算
参加登録費	+¥0	+¥876,000
素粒子論グループ援助金	+¥56,760	+¥450,000
基研援助金	+¥66,000	+¥499,912
個人からの援助金	+¥0	+¥1,190
前年度繰越し金	+¥801,775	+¥755,745
旅費補助(招待講師)	-¥0	-¥0
旅費補助(学生)	-¥0	-¥1,164,100
ポスター印刷費	-¥66,000	-¥99,012
役職校支出	-¥56,760	-¥513,416
次年度繰越し金	¥801,775	¥801,775

1.2 収入

夏の学校が中止となったため、予算書とは申請内容、申請額が異なっている。

- (1) 参加登録費：¥0

(2) 外部団体からの援助・協賛金：¥122,760

団体名	内容	申請額	援助額	差額
素粒子論グループ	運営費	¥56,760	¥56,760	¥0
基研	ポスター印刷	¥66,000	¥66,000	¥0
高エネルギー研究者会議	協賛	¥0	¥0	¥0
仁科加速器センター	原子核研究「夏の学校特集号」出版費	¥0	¥0	¥0
KEK	協賛	¥0	¥0	¥0
RCNP	協賛	¥0	¥0	¥0
合計		¥122,760	¥122,760	¥0

(2) 前年度繰越金：¥801,775

収入合計：(1)+(2)+(3)=¥924,535.

1.2.1 素粒子論グループよりいただいた援助金の用途

素粒子論グループよりいただいた援助金¥56,760の用途の内訳を次の表にまとめる。

項目	金額
会場下見代	¥48,760
備品送料	¥6,000
振込手数料	¥2,000
合計	¥56,760

1.2.2 基研からの援助金の内訳

基研よりいただいた援助金¥66,000の内訳を次の表にまとめる。

項目	金額
ポスター印刷費	¥66,000
合計	¥66,000

1.3 支出

(1) 旅費補助：¥0

(2) ポスター印刷費：¥66,000*¹

(3) 役職校支出合計：¥56,760(支出の内訳については次の表および次節を参照)

項目	予算	決算	差額	前年度決算
三者				
センター校	¥14,000	¥2,000	-¥12,000	¥8,943
事務局校	¥0	¥0	¥0	¥0
準備校	¥125,880	¥51,760	¥-74,120	¥492,694
企画校 *2	¥2,000	¥0	¥-2,000	¥-
素粒子論パート				
事務局校	¥0	¥0	¥0	¥0
準備校	¥15,000	¥2,000	-¥13,000	¥13,761
講義録校	¥0	¥0	¥0	¥0
原子核パート				
センター校	¥0	¥0	¥0	¥0
準備校	¥4,000	¥1,000	-¥3,000	¥2,562
ハラスメント対策委員	¥0	¥0	¥0	¥0
合計	¥160,880	¥56,760	-¥104,120	¥517,960

支出合計：(1)+(2)+(3)=¥122,760

次年度繰越し金：(収入合計) - (支出合計) = ¥801,775(対前年差 + ¥0)

*1 デザイン料 (キャンセル料) のみ計上。*2 2020 年度より新設。

1.3.1 各役職校の支出内訳

- 三者センター校 (東北大学)

項目	予算	決算	差額	前年度決算
振込手数料	¥12,000	¥2,000	-¥10,000	¥8,943
賞状代	¥2,000	¥0	-¥2,000	¥0
合計	¥14,000	¥2,000	-¥12,000	¥8,943

振込手数料：ホテル利用料、および旅費補助の支払いにかかる振込手数料

賞状代：研究会で優れた発表を行った人への賞状代

- 三者準備校（新潟大学、筑波大学）

項目	予算	決算	差額	前年度決算
施設使用料	¥0	¥0	¥0	¥413,380
コピー代	¥5,000	¥0	-¥5,000	¥0
消耗品代	¥10,000	¥0	-¥10,000	¥6,754
輸送費	¥20,000	¥0	-¥20,000	¥0
備品送料 *3	¥-	¥3,000	+¥3,000	¥0
会場下見代	¥50,880	¥48,760	-¥2,120	¥72,560
レンタカー代	¥40,000	¥0	-¥40,000	¥0
合計	¥125,880	¥51,760	-¥74,120	¥492,694

施設利用料：講義・研究会などに使用する部屋の使用料

コピー代：書類のコピーにかかる費用（ポスター印刷は除く）

消耗品代：運営に必要な文具、およびポスター送付にかかる封筒などの物品購入費

郵送費：各大学へのポスター郵送費

備品送料：次年度準備校への備品運搬費

会場下見代：会場下見にかかる旅費

レンタカー代：夏の学校期間中に借りるレンタカー代、ガソリン代

*3 これまでは慣例的に担当役職校が支払いを行っていたため、予算には計上されていなかった。

- 三者企画校（お茶の水女子大学）

項目	予算	決算	差額	前年度決算
消耗品代	¥2,000	¥0	-¥2,000	¥-
合計	¥2,000	¥0	-¥2,000	¥-

消耗品代：運営に必要な物品の購入費

- 素粒子論パート準備校（大阪大学）

項目	予算	決算	差額	前年度決算
録音・録画機材代	¥6,000	¥0	-¥6,000	¥2,316
ケーブル・端子代	¥0	¥0	-¥0	¥5,229
消耗品代	¥3,000	¥0	-¥3,000	¥1,785
機材送料	¥6,000	¥2,000	-¥4,000	¥4,431
合計	¥15,000	¥2,000	-¥13,000	¥13,761

録音・録画機材代：録音・録画保存用のSDカード購入費

ケーブル・端子代：プロジェクターを使用する際に必要なケーブル・端子の購入費

消耗品代：電池、ホワイトボードマーカーなどの購入費
機材送料：夏の学校会場および次年度担当校への機材運搬費

- 原子核パート準備校（名古屋大学）

項目	予算	決算	差額	前年度決算
消耗品代	¥3,000	¥0	-¥3,000	¥1,812
印刷代	¥1,000	¥0	-¥1,000	¥750
備品送料 *4	¥-	¥1,000	+¥1,000	¥-
合計	¥4,000	¥1,000	-¥3,000	¥2,562

消耗品代：ホワイトボードマーカー、レーザーポインター用の電池
印刷代：研究会で使用する資料の印刷代
備品送料：次年度準備校への備品運搬費

*4 例年は手渡しで機材を引き継いでいたが、今年度は夏の学校中止にあたり発生した。

2 2020 年度三者若手夏の学校の中止に伴う持ち越し事項

文責：本多正樹（早稲田大学）

2019 年度三者若手・夏の総会において、開催期間に関して

- 2020 年度：余裕を持った開催日程
- 2021 年度：実施日数を削減

という内容が可決されておりました。しかし 2020 年度三者若手夏の学校の中止に伴い、計画通りに実行することが不可能となりました。直接 2021 年度三者若手夏の学校の日数を削減することも可能ですが、運営上の問題などから、緩衝期間を設ける必要があると考えております。つきましては、予定をそのまま 1 年ずらした

- 2021 年度：余裕を持った開催日程
- 2022 年度：実施日数を削減

という形で対応していただきますよう、関係役職校へお願いしたく存じます。

3 三者若手名簿における不備の可能性の指摘と作成方法の改善案

文責：北海道大学原子核理論研究室 鈴木祥輝

3.1 三者若手名簿における不備の可能性

名簿に登録されていない大学や研究室が数多く存在する可能性を指摘する。今年度7月2日に行われたZoom会議において、配布された参考資料の名簿に記された学生数が明らかに少ないことが根拠である。

3.2 不備の例

配布資料には2019年度と2020年度における東京工業大学の原子核パートの学生数が0名となっているが、これは間違いである可能性が高い。現に東京工業大学において原子核の理学研究を行う研究室は存在し、当該研究室のウェブサイトから2020年度に大学院生が在籍していることがわかる。さらに、東京工業大学は2017年度に三者準備校を担当しており、当該研究室の学生はそれに参加していることから、三者若手名簿に登録されるべきといえる。

また、旧帝大は規模が大きく、複数の研究室がある場合が多いためか、一部の研究室しか名簿に登録されていない可能性がある。名簿の登録人数と連絡責任者から判断して、東京大学は原子核実験グループの櫻井研究室のみが名簿に登録されている状況であると考えられる。同様の理由で、京都大学と大阪大学ともに原子核理論研究室のみが名簿に登録されていると判断される。具体的に研究室を指摘することはここでは避けるが、上記の三大学には名簿に登録されるべき研究室が他にもあると考える。

他にも名簿上で学生数0名とされている大学の中には、小規模ではあるが、大学院生が在籍していることが各研究室のウェブサイトから確認できる大学がある。

3.3 名簿の不備に伴う問題点

- 名簿に登録されない研究室にはYonupa-mlのメールが届かず、夏の学校関連の情報が得られにくくなる。そもそも今回はメーリングリストを使って総会を行っているため、名簿未登録の研究室の学生はこういう議論がなされていることを認識できない。
- 名簿に不備があると各大学の人数を正しく把握できないため、役職校の後任を選定する際に支障が生じる。名簿未登録だと役職校後任候補に挙がらなくなるため、名簿提出をしなければ夏の学校関連の業務に関わらなくても良いということになりかねない。

3.4 名簿作成方法の改善案

少なくとも今年度は、任意で各研究室から名簿を提出させることで三者若手名簿を作成していた。そのため、提出をしない研究室がある場合に不備が生じ得ると考えられる。この未提出は、各研究室で連絡責任者の引継ぎが適切に行われていない場合があることと、夏の学校の運営側が国内の大学の研究室を把握できていないことが原因にあると考える。そこで、以下のような改善案を示す。

- 各研究室で連絡責任者が誰かを明らかにし、引継ぎが適切に行われるように呼びかける。この問題の性質上Yonupa-mlを使った呼びかけでは効果を期待できないため、各研究室の教員が直接呼びかけるように依頼する。
- 過去の名簿を参照するなどして、夏の学校運営側で名簿未登録の研究室を洗い出す。名簿未提出の研究

室には提出を促すように連絡する。

4 2021 年度三者若手夏の学校 三者役職校一覧

2021 年度三者若手夏の学校における三者役職校が以下の通りとなりました。

- 三者センター校：大阪市立大学
- 三者準備校：京都大学
- 三者事務局校：慶應義塾大学
- 三者企画校：早稲田大学